

先進地に学ぶ！

本市議会に設置している常任委員会の調査研究に役立てるため、先進都市の取り組み状況を視察し、見識を高めてきましたので、その概要を報告します。

総 環 境 建 設 務

総務・環境建設常任委員会は、5月8日に神奈川県鎌倉市と9日に小田原市を視察しました。

鎌倉市では、「安心・安全プロジェクト」について学びました。具体的な施策として、青色回転灯を備えた、防犯パトロール車の購入、自主防災組織の活動に対する、腕章やベスト等の貸し出しの支援、防犯アドバイザーとして、警察OBを2名配置し、地域での防犯教室や学校等での訓練などを行っていました。

この結果、刑法犯の認知件数が、平成15年には2703件あったものが、平成19年には1252件と半数以下となっていました。

小田原市では、「まちづくりサポーター」、「環境家計簿」について学びました。

「まちづくり市民サポーター」とは、自分の持っている技術や経験を社会の中で生かしたいなどの気持ちを持

つた市民に行政や市民活動団体の行う事業等に協力してもらおう制度です。

「環境家計簿」とは、家庭で使う「電気」、「ガス」、「水道」、「ガソリン」の使用量と「燃やせるごみ」の排出量を一ヶ月ごとに記入するだけで、地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出量が確認できるものです。省エネルギーや地球温暖化防止のため、ガソリン、ガス、水道、ゴミの排出量など、身近なところでできることに目を向けてもらうための施策であり、見習うべき事が多くありました。



健 康 福 祉 経 済 教 育 社



健康福祉・経済教育常任委員会は、5月15日に神奈川県秦野市と16日に茅ヶ崎市を視察しました。

秦野市では、「健康づくりセミナー」、「はだの子ども教育プラン」について学びました。

「健康づくりセミナー」は、自分らしい豊かな人生を送るための健康づくりを目指すし、平成14年に健康増進計画「健康はだの21」を策定し、19年度に人と人との繋がりを広げていく

ことを重要な視点として改定を行いました。実施結果として、この計画の視点である「人と人の繋がり」を大切にすることにより、生活習慣改善、健康づくりの継続に繋がりがやすいということが検証されています。

「はだの子ども教育プラン」とは、子どもの幸せと健やかな成長を育むため、家庭・地域・学校・行政が連携・協力し、今後の秦野教育の方向性や具体的な施策・事業等を示すものとして、平成16年度に策定された事業です。

茅ヶ崎市では「子育て支援対策プロジェクト」、「商店街にぎわい創出事業」について学びました。

「子育て支援対策プロジェクト」では、次代の社会を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ環境の整備、そして、子育て家庭に対する子育て相談等の支援のため、次世代育成支援対策行動計画（後期計画）の策定や子育て支援センター事業、ファミリーサポートセンター事業、シヨートステイ事業等を実施してまい

「商店街にぎわい創出事業」では、魅力ある商店街づくり、商業の活性化を図るために商店街団体が「戦略的販売促進事業」、「空き店舗活用事業」、「コミュニティビジネス」等の事業を展開しており、その事業費を市独自に補助し、発展的な取り組みを促進するために実施していました。空き店舗活用では、保育サービ

